



頭頸部・食道再建手術患者における治療、機能、予後に関する後ろ向き調査

2012年4月1日から2021年6月30日までに頭頸部癌あるいは食道癌のため、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、消化器外科と形成外科・再建外科・美容外科で合同治療を行った患者さん

研究協力をお願い

当科では「頭頸部・食道再建手術患者における治療、機能、予後に関する後ろ向き調査」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2012年4月1日から2021年6月30日までに頭頸部癌あるいは食道癌のため、日本医科大学付属病院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科、消化器外科と形成外科・再建外科・美容外科で合同治療を行った患者さんの治療内容、治療成績、術後機能、生命予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：頭頸部、食道悪性腫瘍再建手術患者さんの治療、術後の機能、予後に関する研究

研究期間：研究実施許可日～2024年6月30日

研究責任者：日本医科大学付属病院形成外科・再建外科・美容外科 梅澤裕己

(2) 研究の意義、目的について

2012年4月1日から2021年6月30日までに頭頸部癌あるいは食道癌のため、日本医科大学付属病院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科、消化器外科と形成外科・再建外科・美容外科で合同治療を行った患者さんの治療内容、治療成績、術後機能、生命予後を明らかにすることを目的といたします。本研究により該当する治療の成績、適性を判断し、治療成績、術後機能、生命予後を改善することを目指します。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2012年4月1日から2021年6月30日までに日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科、消化器外科と形成外科・再建外科・美容外科で合同治療を行った頭頸部及び食道悪性腫瘍患者さんについて電子カルテ上の診療録を閲覧し治療内容、治療成績、手術後の機能、生命予後を調査します。

患者さん個人の情報を使用させていただきますが、情報は匿名化するため、個人が特定されることはありません。

また外部機関に情報を提供することはありません。

特別に試料の採取や検査等を行わず、また患者さんに何らかの身体的、経済的負担が生じることもありません。

情報：年齢、性別、疾患名、手術方法、術後の嚥下機能、肺炎の有無、会話機能、神経麻痺、食事形態、生命予後など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。

その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイドダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院形成外科・再建外科・美容外科

准教授 梅澤裕己

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24755

メールアドレス：h-umezawanms@umin.ac.jp